

サクラ咲く日まで

自己推薦書の書き方

前号の進路通信では、「自己推薦書」の記入内容や作成方法について紹介しました。では、どのように書いていけばよいのでしょうか。

全日制の場合を例にして説明します。該当生徒は、記入（作成）の際に参考にしてもらえれば幸いです。

記入内容 1 入学を希望する理由や抱負について（この学校を入学したい理由や入学してから自分がしたいと思うことについて、この学校のスクール・ポリシーを踏まえて記入してください。）

まずは、スクール・ポリシー及び「入学者の受入に関する方針等」をしっかりと熟読することです。各高校のスクール・ポリシー及び「入学者の受入に関する方針等」は、HPに記されています。また、「入学者の受入に関する方針等」は、進路通信 5 3 号（6 月 2 4 日発行）にも添付しております。例えば、札幌北陵高校の「入学者の受入に関する方針等」は、下記の通りです。

基本的生活習慣が身に付いており、次の全てを満たす生徒

- 1 大学進学等、将来への目的意識をしっかりと持ち、何事にも積極的で、絶えず向上しようとする熱意のある生徒
- 2 部活動や生徒会活動等にも積極的に取り組み、今後もリーダーシップを発揮し活躍できる生徒

札幌北陵高校の場合、「次の全てを満たす生徒」という条件がついておりますので、1 と 2 の両方について合致している点を記す必要があります。

1 についてであれば、将来、どのような職に就き、何をしたいのか。また、その職に就くためには高校卒業後、どのような進路を歩むべきか。その進路を歩むためには、今後、どのような努力をするつもりか等を記すとよいでしょう。

2 についてであれば、リーダーシップを発揮して活躍したい活動（部活動、生徒会活動等）をその理由とともに、具体的に記すとよいでしょう。また、リーダーシップを発揮するために、どのような努力をするつもりか等を記すのもよいでしょう。

記入内容 2 中学校の各教科（選択教科を含む）や総合的な学習の時間における学習について（中学校で学習したことについて、自分が特にアピールしたいことを具体的に記入してください。）

学習面に関することを中心に記すのであれば…

- ①その学習に目覚めたきっかけ。
- ②その学習にかけた時間や頻度。

③学習面で工夫したこと。

④学習したことを将来、どのように役立てたいか。等について記すのもよいでしょう。

記入内容 3 中学校在学中における学校内外の諸活動について（中学校生活の中で、学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、ボランティア活動、取得した資格や検定結果、その他の活動を通して学んだこと、自分が特にアピールしたいことなどを具体的に記入してください。）

部活動に関することを中心に記すのであれば…

①どれくらいの期間、何部に所属していたか。

②レギュラーとして活躍していたかどうか。

③キャプテンや副キャプテン、その他チーム内での役割。

④レギュラーでなくとも休まずに部活の練習に参加したこと。

⑤チームの皆のために道具の整理や準備を率先してやったこと。等について記すのもよいでしょう。

また、部活動を通して何を学んだのかを記すのもよいでしょう。

①継続することの大切さ

②仲間を信頼すること。

③あきらめないこと。などが考えられます。

さらに、中学校時代の部活動の経験を高校生活や将来にどういかしたいのか。

①同じ部活動を継続し、より向上させたい。

②経験を別の場面でも役立てたい。などが考えられます。

@coffee break 中学校入試より（算数）解答編

進学校で有名な京都府の洛南高等学校附属中学校の入試問題を1つ紹介します。

問題 $142857 + 428571 + 285714 + 857142 + 571428 + 714285 = 999999 \times \square$
 $\square$ を求めなさい。

$$142857 + 428571 + 285714 + 857142 + 571428 + 714285 = 2999997$$

この 2999997 を 999999 で割ると答は3となります。しかし、この問題には面白いことがかかっているのです。

1	4	2	8	5	7
4	2	8	5	7	1
2	8	5	7	1	4
8	5	7	1	4	2
5	7	1	4	2	8
+	7	1	4	2	8
5	7	1	4	2	8
27	27	27	27	27	27

← 桁ごとにたすと、どの桁も 27 になります。

一の位が 27 ということは、1 円玉が 27 枚ある。
十の位が 27 ということは、10 円玉が 27 枚ある。
百の位が 27 ということは、100 円玉が 27 枚ある。
千の位が 27 ということは、千円札が 27 枚ある。
一万の位が 27 ということは、一万円札が 27 枚ある。
十万の位が 27 ということは、十萬円札が 27 枚ある。

と考えます。

つまり、111111 円が 27 人分あることになり、 $111111 \times 27 = 999999 \times \square$ という式になります。

両辺を 111111 で割ると $27 = 9 \times \square$ となり、答は3になるのです。